

拝啓、ぼくは元気にやっています。 フツ-の徳大生の、 フツ-の一日



歯学部 歯学科 4年
桃原 光平 (もはら こうへい)



アンケートに答えて

広報「とくtalk」では、毎回保護者の方にアンケートをいただいています。

その中で、県外の保護者の方に多いリクエストが、「平均的な徳大生の生活が知りたい」ということです。

「我が子は元気でがんばっているのか、何も連絡がない」「こちらから電話しても詳しいことは話さない」らしいのです。

そのために「広報誌が届けられるだけでも安心できる」と評価をいただいています。昨年「マイ・キャンパスライフ」の号外として年に一度、普通の学生生活を紹介しています。とは言え、当然

一人ひとり違いますから、ここで紹介する学生が代表と言うことでもありません。どうぞその点もご了承の上お読みください。
なおホームページには、2年に一度実施している、アンケート調査による学生生活の様子も公表していますので、そちらも合わせてご覧ください。

雨二モメクス通学は徒歩で

今回モデルになってくれた桃原さん(28歳)は、名古屋大学理学部を経て徳島大学歯学部へ再受験で入学してきました。大失恋や勉強のストレスから、名大時代は体重がMAX110kgあったというのです。年齢も体格も写真から想像はできませんね。

徳島に来てからも10kg近く減量して、現在は65kg以下をキープ。その理由は1日平均10kmのウォーキング。休日ともなると、20-30



是非一度は、お子様を訪ねて遊びに来てください。

学生実態調査より

2年に一度、全学部の学生全員を対象に実態調査を行っています。全てを紹介するスペースはありませんので、今回は「保護者からの援助額【自宅外通学者】および「1ヶ月の平均支出額【自宅外通学者】という項目のグラフを紹介します。全

マイ・キャンパスへ ウェルカム!



徳島大学は地方という条件をマインナスにせず、地域連携で地方の活力や資産を生かしながら、都市圏の大学にはない環境で、学生を支援し、育んでいます。

ソフトだけでなくハード面でも、建物の新築・改築など、着々と進化を遂げています。耐震構造など災害対策も万全です。

徳島には四季を感じる絶景や山海の食材、阿波おどりや藍染など徳島が全国・全世界に誇る伝統文化、その他にも多くの魅力が詰まっています。

「この時世、歯科医院を開業さ

km歩くことも。

「有り得ない場所ですよく同級生に車中から目撃されます(笑)」

徳島は都会のように、次々とバスは走ってきません。電車もありません。他の学生も、近くは歩きますし、通学には多くが自転車を使います。地元の学生の場合は、自宅が遠い人は車を使うこともあります。

徳大は、医歯薬学系(蔵本)と社会産業理工学系(常三島)、そして大学本部棟が別々の場所に位置するため、部活動も医歯薬学系は蔵本キャンパスを拠点とした独自の団体を持っています。

グルメを求めて どこまでも



桃原さんはドライブが大好き。かつての教訓から、「つまらないお菓子やご飯でカロリーを摂るくらいなら、日本中の美食を求めたい」と考えるように。特にパンには造詣が深く、毎週末には日本各地のパン屋を何件も巡るグルメっぷり。

「この間も、パン激戦区で有名な富士・箱根エリアまで(海峽区間を除いて)、全路下道のみでドライブ

仕送りだけががんばれるか

名大時代は家庭教師で荒稼ぎしていた桃原さんも、現在は勉強に専念するためアルバイトはやっていません。

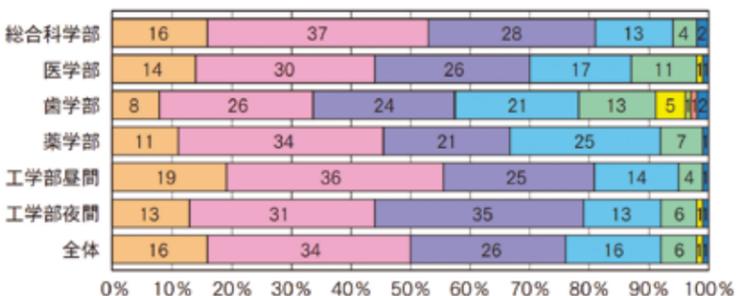
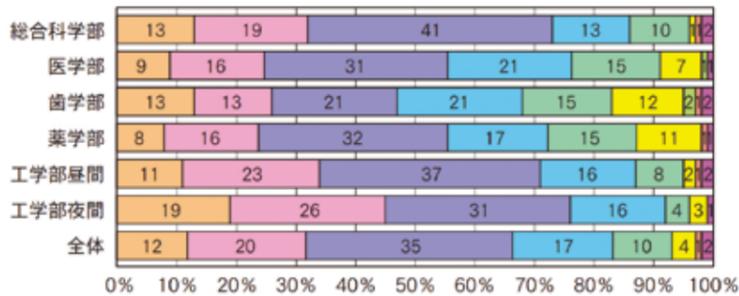
仕送りをやりくりしながら、趣

で、1週間の平均従事時間数は5-10時間未満の割合が30%で最も多く、次いで5時間未満22%、10-15時間未満21%、15-20時間未満15%、20-25時間未満8%、25時間以上5%となっています。

1ヶ月の平均支出額(授業料を除く)で最も多い区分は3-5万円未満の34%、続いて5-7万円未満の26%、3万円未満の16%となっています。

支出の内訳は調査されていませんが、自宅外通学者にとって、大きな支出は家賃ではないでしょうか。学生向けのワンルームマンションで、平均3-5万円くらいではないかと思えます。築年数の古いアパートならもっと安い物件もあります。

次いで、食費や本代などかと思像されますが、今はスマホの通信代も結構負担になっているかもしれません。



※グラフは徳島大学ホームページより
徳大HP→教育・学生生活→第27回学生生活実態調査(平成28年3月)